

地球温暖化と農業生産

— いま、農業があぶない —



産業革命に端を発する工業化の進展と人口増加が、地球環境に多大な影響を及ぼしています。化石燃料に依存するエネルギー経済や、食料増産のための森林伐採が大規模化すればするほど、大気中に二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスが大量に蓄積し、温暖化が進行します。CO₂の濃度上昇を伴う温暖化は、食料となる作物や家畜飼料の生産過程にも影響を及ぼしますので、その影響解析を行うとともに、対応技術を開発する必要があります。

本セミナーでは、今井先生が地球温暖化の問題点と農業サイドでの対応策を明らかにします。

講演者

明治大学農学部教授 **今井 勝 氏**

日時：2009年**10**月**14**日[水] 16:00-17:30

場所：東京大学農学部 弥生講堂
アネックスセイホクギャラリー

入場無料

主催 NPO法人日本農学図書館協議会
問い合わせ

Tel&Fax 03-5477-2776

E-mail jaald@nifty.com

